企画・制作：読売新聞社広告局　広告

大学 SELECTION

鹿児島大学

南九州から世界に羽ばたく グローカル教育研究拠点・鹿児島大学

南北600キロ、豊かな自然と歴史文化に恵まれた鹿児島県全体をキャンパスとし、幕末の若者たちの進取の精神を受け継ぐ鹿児島大学。地域とともにある「地（知）の拠点」として地域課題をグローバルな視点で捉えることのできる人材育成に力を注いでいる。

学長
佐野 輝 氏

学長メッセージ（知の拠点として）

鹿児島大学は1949（昭和24）年、新制国立鹿児島大学として発足しました。以後、10万人を超える人材を輩出し国内外の発展に大きな役割を果たしています。現在は3つのキャンパスに9つの学部と9つの大学院研究科を置き、1万数百人の学生が在籍する総合大学です。

鹿児島県は日本列島の南端に位置し、多くの島々や海洋が取り巻く豊かな自然に恵まれた地です。温暖な気候と利便性に優れた学びの場として、最適な環境が整っています。またアジアと世界諸地域に開かれた南の玄関口として、海外との交流を通じ異文化の導入を率先して行い、豊かな文化や学術を育み、我が国の変革と近代化を推し進めた数多くの人材を輩出した地でもあります。

昨今、国際社会は新型コロナウイルス感染症拡大をはじめ解決が急務の課題をいくつも抱えています。このような時にこそ、大学に期待されている「地（知）の拠点」としての活力を通じ、「知の力」をもって地球レベルの困難に立ち向かう人材育成機関として皆さんとともに進んでいきたいと思います。

学生1人ひとりの潜在能力の発見と適性の開花に努める教育理念のもと、新しい自分を発見し、鹿児島から世界に羽ばたく学生を応援しています。

独自の取り組み

鹿児島から世界へ

学生の海外挑戦の機会として、短期研修から長期留学まで多くのプログラムを用意しているが、なかでも「UCL稲盛留学制度」はイギリスの名門ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）に正規学生と同じ扱いで留学が可能な制度だ。幕末の1865年、薩摩藩遣英使節団としてイギリスに渡った15人の留学生の精神を受け継ぎ、進取の気風を備えた若者の育成を図ろうというものだ。修士、博士課程に在籍または入学予定者が対象で渡航費、1年間の滞在費、授業料など留学に必要な経費を給付する。

また米国9大学、アジア9大学とのオンライン国際協働学習（COIL）では、島嶼（とうしょ）へき地医療、食の安全、移住と教育など鹿児島の自然環境や地域の課題を踏まえたテーマを取り上げている。文部科学省が推進する「COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援」事業の最先端をいく取り組みで、高く評価されている。

詳しくはこちら→

〈操縦飛行体験SKYCAMP〉

数多くの離島が点在する鹿児島県にとって、地域航空ネットワークの実現は離島振興、医療体制充実に欠かせない。「地域密着型パイロット人財創出プログラムSKYCAMP」は、地域に根付き愛郷心あるパイロットの継続的育成を目指す取り組みだ。

対象は全学部の3年生、院1年生（説明会は全学年）。日本航空と日本エアコミューター（JAC）の協力で、飛行操縦の原理や必要な技術を約2週間のプログラムで学び、最後は参加者全員が実際に飛行機の操縦を体験する。

パイロットを目指す学生には選考の上、卒業後に熊本・崇城大学のエアラインパイロット育成コースの研究生として入学、2年間の訓練後にJACの訓練生として入社してもらう。本学とJACの支援金の他、貸与型奨学金もある。

詳しくはこちら→

〈理学部体験授業〉

理学部は今年度から高校生を対象にした「鹿児島大学理学部体験授業」を実施する。大学生向けの授業を実際に受け、理学部での勉強を体験し受験勉強のモチベーションアップにつなげてもらう試み。理学部の数理情報科学プログラム、物理・宇宙プログラムなど5つのプログラムごとに「カードシャッフルの数学」「ファインマンの力学」といった基礎的なテーマを取り上げる。

詳しくはこちら→

〈コロナ禍支援〉

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済的に困窮している学生を支援するため、返済のいらない鹿児島大学学生緊急支援金を設けた。2回で1,681人に8,720万円を給付した。本学OBの稲盛和夫氏（京セラ名誉会長）の寄付を母体とした「鹿児島大学稲盛和夫基金」と経済的理由で修学が困難な学生を対象とした「鹿児島大学修学支援事業基金」を原資とした。

学生の声はこちら→

〈現場密着の就職支援〉

5月に発表された「第4回学生が選ぶインターンシップアワード」（実行委員会主催、経済産業省・文部科学省等後援）で本学の「課題解決型インターンシップ」が文部科学大臣賞を受賞した。

インターンシップは全学年対象。地元企業や自治体で10日間の実習を体験するが、事前学習に始まり事後の成果報告会や振り返りまで丹念なフォローがある。さらにプログラムの流れや参加の際の留意点、参加学生の感想やエントリーシートの書き方、ビジネスマナーなどを詳しくまとめたガイドブックを作成したことも評価された。

詳しくはこちら→

〈国際島嶼教育研究センター奄美分室〉

鹿児島県は多くの島を有することが特徴であり、その研究のため国際島嶼教育研究センターを設置している。当センターでは、2015（平成27）年4月に奄美分室を開設した。分室は奄美群島拠点の5つの施設の中で唯一教職員が常駐し、奄美群島での教育・研究の中核施設となっている。

分室の目的の1つに教育・研究の地域貢献がある。そのため、奄美群島に関する書籍を多数準備し、研究者や一般市民が集い語らい、教養を深める場として島嶼研究勉強会「奄美で語りましょう」などを不定期に開催している。加えて、中学生・高校生に鹿児島大学や大学生活を紹介するスペースも整備している。研究面では、教職員・学生スペース、教職員・学生が利用できる宿泊所や奄美島嶼実験室がある。

学部・大学院情報	学部／法文学部、教育学部、理学部、医学部、歯学部、工学部、農学部、水産学部、共同獣医学部　大学院／人文社会科学研究科、教育学研究科、保健学研究科、理工学研究科、農林水産学研究科、医歯学総合研究科、臨床心理学研究科、共同獣医学研究科、連合農学研究科、連合獣医学研究科

オープンキャンパス 2021

学部・学科等紹介／入試説明会／体験講義／施設見学／学生交流企画 など

8/5（木）歯学部*［桜ヶ丘キャンパス］
8/6（金）医学部医学科*［桜ヶ丘キャンパス］
8/8（日）・8/9（月）
両日実施：法文学部［郡元キャンパス］／教育学部［郡元キャンパス］／理学部［郡元キャンパス］／工学部［郡元キャンパス］
8/8（日）のみ：水産学部［下荒田キャンパス］／共同獣医学部［郡元キャンパス］
8/9（月）のみ：農学部［郡元キャンパス］
8/11（水）医学部保健学科*［桜ヶ丘キャンパス］

＊医学部及び歯学部のオープンキャンパスに参加できるのは、鹿児島県内在住（受験予定者）の方とさせていただきます。それ以外の方は、オンライン相談会等にご参加ください。

オンライン相談コーナーも同時開催！
8/6（金）歯学部
8/8（日）・8/9（月）
両日実施：法文学部／教育学部／理学部／工学部
8/8（日）のみ：農学部
8/9（月）のみ：水産学部／共同獣医学部
8/11（水）医学部保健学科

さっつん

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、対面での実施を行わず、オンライン相談コーナーのみの開催とする場合があります。また、対面開催の場合でも参加制限をさせていただく場合があります。

常設サイト「どこでもKADAIドア」配信開始！
8/5（木）OPEN！（内容）・総合型選抜（自己推薦型選抜）関連動画 ・学部紹介動画 ・学部模擬授業動画 など

参加お申込み方法
参加には、事前申込が必要です。（定員あり）企画の詳細及びお申し込み方法につきましては、7月中旬公開予定の本学特設サイトにてご確認ください。
https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/opencampus.html

国立大学法人 鹿児島大学
〈お問い合わせ先〉
鹿児島大学 入試課 TEL 099-285-3049
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号